

第1回（仮称）札幌市森林基本方針策定に関する有識者会議 ご意見・質問等と回答

2 追加で有識者の意見を確認すべき分野

ご質問内容	回答
<p>普及啓発について歩道・市民の森といったハードと個別利用に焦点を当てていますがソフト利用・事業(例えば自然観察会など)についても、ソフトを担う団体などの方から意見を聞いたらいかがでしょうか？木育、森林ボランティアなども対象となるかもしれません。普及啓発を進めるうえでソフト事業の役割は重要であり、また育成する必要もあり、そうした立場からの森林整備・利用に関わる意見をうかがっておくのが良いのではと思います。またこれら主体は管理保全に当たって協力者となってくれる可能性もあるかと思えます。(どのような団体がどのような活動を行っているのか調査をするという課題になるのかもしれませんが) (柿澤委員)</p>	<p>森林整備や森林環境保全、環境教育などを含めた担い手として、多数の森林ボランティア団体が活動を行っております。こうした団体のご意見をうかがっておくことは、今後の取り組みを効果的に行う上で重要と考えますので、こういったタイミングや方法で意見をうかがうか、検討いたします。</p>
<p>野生動物・生物多様性に関して、私も意見聴取したほうが良いと思います。野生動物に関しては森林整備だけ取り出してどこまで議論ができるのか、他の政策・計画との連携なども確認する必要があると思います。(柿澤委員)</p>	<p>緑の審議会でも、野生動物や生物多様性に関する計画や施策との整合性などのご意見もあったことから、庁内の関係部局や専門家への意見聴取を実施したいと考えております。</p>
<p>緑の審議会からの意見①については、有識者の意見を確認すべき分野だと思われま す。(佐々木委員)</p>	<p>関連部局との意見交換の他、生物多様性や野生鳥獣に関する専門家への聞き取りを検討いたします。</p>
<p>この点については、私も生物多様性に関して意見を聴取してはどうかと思いました。自然歩道や市民の森と中心として、一部の森林を生物多様性保全機能を重視して管理していくことで、市民からの支持も高くなると考えられます(添付のKim et al. (2020)にあります)、札幌市の都市緑地に対する様々な期待の中で、右上がり期待が高くなっています)。様々な生物多様性保全機能があると思うので(添付のFuyuki et al. (2014)は両生類に関するものです)、有識者の意見を参考に、生物多様性保全に資する森林管理の可能性を検討できるのではないかと思います。(庄子委員)</p>	<p>緑の審議会でも、野生動物や生物多様性に関する計画や施策との整合性などのご意見もあったことから、庁内の関係部局や専門家への意見聴取を実施したいと考えております。</p>
<p>教育機関に対して、森林・林業の普及啓発をどう取り組んでいくか (平田委員)</p>	<p>まずは、市教育員会に林業(社会科)や森林の役割(理科)での教育方針について、把握して参りたいと考えております。</p>
<p>札幌市の木を実際に活用するためにクリアすべき課題の明確化。例えば切り出した木を製材するのに、既存の市外の製材所を利用するのか、それとも市内に新しく製材所を作るのか等。(平田委員)</p>	<p>木材利用の施策を議論する上で、製材工場のない札幌市が何に取り組むべきか、2回目以降の有識者会議でご意見を伺いたいと考えております。</p>
<p>実際に森林整備をする主体になるであろう、札幌市森林組合の体制づくり。(平田委員)</p>	<p>札幌市森林組合の体制強化が急務だと感じているとことです。</p>
<p>今後森林基本方針を実行に移す上で、札幌市側の人員(市のマンパワー)をどう確保していくか、(例えば外部人材を雇う等) (平田委員)</p>	<p>現在、札幌市の体制についても改善が必要であり、また、長期的な視点での人材育成も必要であると感じております。会議の中で、ご提言いただければと思います。</p>